



上田 恭子

Mariaの歌詞「いのりのじかんはいつもちこく」のわずか8小節を歌うだけなのに「まあ、どうしましょう・・・」「この音痴の私が・・・」「独りで・・・」と、決まって2～3日過ぎてから「いのりの・・・」の歌詞が頭から離れません。ある音楽教室の先生から、毎日発声練習すること、歌詞の母音を強調すること、そしてその場面の気持ちになって歌うこと等のアドバイスを頂きました。そういえばあるお母様からも「その場面を考えて歌うといいよ」と言われていました。発声練習は家事をしながら、また車の中でしましたが、本公演では残念ながら練習の成果を出せませんでした。しかし、今回の経験は、私にとって思い出となるコンサート「若竹ミュージカル12年の軌跡」となり感謝しています。

相磯 キミエ

もう12年も経ったのですね。駆け足で来た感じがします。練習の時は歌詞をなかなかおぼえられず虎の巻を作ったり音痴で声も悪いのに舞台に出る図々しい自分がとても恥ずかしく思う。最初は子供を監視するために参加したのに、音痴でも皆さんと一緒に歌える楽しさを教えられました。今では子供と一緒に舞台に出られる幸福をかみしめています。

小野寺 恵江

皆とても素晴らしかったです。やれば出来ると再認識させられました。私のソロ？近藤さんと組ませて頂きましたが近藤さんのきれいな声を台無しにしてしまったのではないかと、なんで辞退しなかったのか反省しています。順番になると心臓はドキドキ飛びだしそうでした。でもアットホーム的な感じがとても良かったと思います。

福井ハ・ウエブログ/2005.11.3(Thu): ネット検索では武蔵小金井駅周辺の宿泊施設は一軒のみ。空き室ありを確認後予約す。ホッ！/

2005.11.5(Sat): 日暮れて宿にチェックイン、強烈トイレ消臭剤の歓迎受く。5時間後、福井ア、就寝前恒例7曲の“おさらい”を済ませ寝息をたてている。ハも遅れて10曲の“おさらいモード”に入る。寝室にまで押し寄せて来る芳香(?)が動因か、3巡目というのに依然睡気を催さない。マズイ！/

2005.11.6(Sun): 睡眠不足気味のイミテーションシスター福井ハは、与えられたピンマイクと共に様々な思いを胸につけ下手最前列左から2番目に立つ。なんだか孤独で不安だ。お母様方の美しい笑顔に勇気を頂き、「練習は本番のように本番は練習のように」のコンダクターの言葉を反芻し、はやる心を落ち着かせる。運を天にまかせた5秒間の拙いバージョンソロは大過なく打ち過ぎ、打ち上げ会ではみんなと喜びを分かち合うことができて心底愉快。やがておひらき。甲子園球児よろしくキャンパスのマツボックリひとつ車の後ろ座席に置き、またまた日暮れて連泊の宿に戻る。再び強烈トイレ消臭剤の歓迎受く。コウエンゴセイコウ・オメデトウゴザイマス！/

観客になって・・・

谷山 洋子

今回の公演は観客として舞台を観させていただきました。歌で1時間と言う時間は丁度良く、歌声も美しく、声も良く出ていて素晴らしかったです。何とも言えない感動があり、心身共に癒されて明日から頑張ろうという気持ちになりました。歌で充分皆さん感動してもらえた様になったことは、最初のことを思いますと、12年の積み重ねの一番の成果ですばらしい事だと思いました。芸術館は会場も舞台も狭いですが、他の会場にない良さがあると思いました。オーケストラと舞台が近く、境がないので広井先生中心に舞台とオケが一つにまとまっている様子が伝わってきますし、目の前でオケの生演奏が聴けるし、見えるし、舞台の人々の生き生きとしている表情もみえるし、また照明は他の会場に比べて暗いですが、それがかえって落ち着いた感じになり良かったです。芸術館での公演を続けていくことは意義のあることだと思いました。

